

“こんな風に活躍しています！”～提供ボランティアのある一日～

「V-net」には、特技や趣味を活かし、たくさんの方がボランティア登録しています。そのひとり、中村恭恵（なかむらのぶえ）さんを紹介いたします。中村さんは、講師神田紅さん主催「紅塾」の塾生です。学んでいることを活かし「住んでいる地域でボランティア活動ができれば…」という思いで登録をしました。

この日は赤間地区福祉会の依頼で活動です。参加者約110人の前で「正助さん」や「黒田節」といった縁ある演目を披露しました。また、中村さんのひと工夫で、参加者全員が講談を体験する機会に恵まれ、美声にうっとり、声の出し方なども学べ、笑い声に包まれる和やかな雰囲気のボランティア活動でした。

この活動のために入念な準備をしたそうです。「当日を迎え、多少心配もありました。しかし、皆さんのニコニコと笑顔がこぼれる反応を見て、とても楽しくボランティア活動（講談）ができました」と中村さん。「今日の活動は、モチベーションにつながります。練習を重ね、もっと多くの演目を覚えていきたいです」と意欲にあふれていました。

中村さんのように、宗像市が住みよいまちになることを目指し、たくさんのボランティアさんが活躍中です！今後もよろしくお祈りいたします。



なかむらのぶえ
中村 恭恵さん

ボランティアセンターからのお知らせ

V-net 登録済みの方へ

登録の内容に変更はありますか？変更があった場合は、速やかに当センターまでお知らせください。活動紹介や活動報告、写真などホームページ、掲示板に掲載することもできますのでぜひ活用してください。

【ボラセンだより 平成26年度 Vol.2 2015年2月20日発行】
宗像市社会福祉協議会 宗像市ボランティアセンター
宗像市久原180メイトム1階
Tel 0940(37)4100
Fax 0940(37)4101
E-mail v-net@syakyo.munakata.com
ホームページ <http://kouryuukan.com/v-net/>



メイトム春まつり

～第6回市民活動交流まつり開催！～

おしゃべり広場、灯ろう、ステージ発表、ブース出店、団体活動紹介など当センター登録団体からも多数出店、発表！多くのみなさんの来場を待っています。

日時：3/7日(土)10:00～20:00

場所：メイトム宗像(市民活動交流館)



募集中のボランティア

☆プール療育支援ボランティア活動☆

発達支援センター療育施設「のぞみ園」での、プール療育ボランティアさんを募集しています。

日時：毎週金曜日 8:15～10:10

※のぞみ園の行事などで休みもあり

場所：宗像ユリックスアクアドームプール

募集人数：1人(大学生以上)

その他：・プール料金は「のぞみ園」負担

・アクセサリ、化粧不可

・詳細は、随時面談にて説明

申し込み・問い合わせは同センターまで



ボラセンだより

平成26年度 Vol.2

【表紙】

目次

*「手話講習会」参加者大募集！

【中面】

*各種登録申込・更新のお知らせ

・車イス移送車
・ボランティア活動保険

*ボランティア活動紹介

・アロマでボランティア「あろぼら」
・藤崎 由起子さん
・空 美月さん

【裏表紙】

*“こんな風に活躍しています”～提供ボランティアのある一日～中村 恭恵さん～

*ボランティアセンターからのお知らせ

・V-net 登録済みの方へ
・メイトム春まつり開催！
・募集中のボランティア

*発行者・メイトム地図



平成27年度

手話講習会

参加者大募集！



手話講習会の新規受講者を3月より随時募集します。まずは見学も可能ですのでお気軽に当センターまで問い合わせ・申し込みください。

火曜

コース

時間：19:00～21:00

初回：4月14日

指導グループ：手話サークル「シュワッチ」

場所：メイトム宗像202

金曜

コース

時間：13:30～15:30

初回：4月10日

指導グループ：手話サークル「ゆび」

場所：玄海地区コミュニティセンター

土曜

コース

時間：13:00～15:00

初回：4月11日

指導グループ：手話サークル「シュワッチ」

場所：メイトム宗像202

受講料：全コース年間500円

(テキスト代別途200円程度必要)

申し込み・問い合わせ：宗像市ボランティアセンター

Tel 0940(37)4100

Fax 0940(37)4101

E-mail v-net@syakyo.munakata.com

2015

各種登録・申込・更新のお知らせ

平成 27年度 車いす移送車 利用登録・更新手続き 3月より随時受付!

当センターでは、日常生活で車いすを利用している人向けに、車いすのまま乗り込める福祉車両を貸し出しています。買物・旅行・通院など様々な目的で利用できます。

対象者 公共交通機関の利用が困難な車いす利用者で以下の条件にあてはまる人

①運転者の確保ができる人②(個人)宗像市在住の人(団体)宗像市に拠点がある福祉団体などの活動に参加する市内外在住の人

利用日時 運休日以外の9:00から貸し出し17:00までに返却

運休日 第1土曜日・日曜日・祝日・年末年始・法定車検期間

利用について 車両利用料は無料。ただし燃料を満タンにして返却
利用回数は、1週間に2回まで。宿泊を伴う場合は、1泊2日まで

ノア(スロープ式)
定員3人+車いす2台
オートマチック車



申し込み方法 事前に利用登録が必要です。(年度ごとに登録の申請が必要)

利用希望日の1ヶ月～1週間前までに、当センターへ電話で仮予約後、申請書を提出してください。

平成 27年度 ボランティア活動保険 加入手続き 3月18日(水)より 随時受付

日本国内でのボランティア活動中におこりうるさまざまな事故やケガに対する備えとして、無償で活動するボランティア活動者を補償する保険です。ボランティア活動中の「損害賠償責任」も補償。当センターのボランティアネットワーク(通称 V-net)に提供者登録をしている人や団体は、保険料を一部助成します。

Aプラン300円、Bプラン450円、天災 Aプラン430円、天災 Bプラン650円
があります。

★手続きには ①印鑑(認印可) ②保険料 ③構成員の名簿(団体加入の場合のみ)

が必要です。来所時に、持参してください。

空 美月さん(まちづくりボランティア)

私は今、日本赤十字九州国際看護大学に通学しています。宗像に4年間住むことになったので、せっかくなら地域のことを知るとともに何か役に立てる事はないかと思ったのが、ボランティアをはじめたきっかけです。

ボランティアをするにあたって気をつけている事は、一連の流れがスムーズに進行できるように、活動内容をしっかり把握することです。また、自分自身が成長できるように、相手とのコミュニケーションを大切にしています。『ありがとう』と感謝の言葉を言われた時はとても嬉しく、やりがいにもなります。



2月1日に植林ボランティアをしました!

個人・団体ボランティア活動紹介

各団体、個人へのボランティアに関する問い合わせは宗像市ボランティアセンターへ
TEL 37-4100

アロマでボランティア『あろぼら』

宗像での活動は始めたばかりですが、拠点とする古賀市の病院では15年程となります。私は、保育士として産婦人科で長期入院の方のメンタルケアの仕事を中心に担当していました。医療資格はない自分がどの様に仕事をするべきか悩んでいた時、偶然見つけたアロマのショップ、それがアロマとの最初の出会いでした。アロマはアロマセラピー(芳香療法)の略です。私達にある五感の中でも、香りは脳にダイレクトに速やかに届くようで、香りは気分転換にもってこいなのです。

リラクゼーションを目的とした香りのマッサージやアロマオイルを垂らしたお湯での足浴を病院で導入してからはあっという間に評判になり、アロマのケアが広がりました。現在は病院を退職し、時間の取りやすいボランティアに切り替えました。

ひとりで始めたボランティアも増減はありますが、現在6人。所属するアロマ協会は違っても、手間をかけて学んだアロマの良さを多くの方に、正しく、楽しく伝えたいという思いはひとつです。各自仕事を持ちながら、家庭を切り盛りしながら続けることを目標に活動しています。

ボランティアでは植物油で薄めた精油(アロマオイル)で、10分程のハンドトリートメントを実施しています。オイル代は実施先をお願いしているので、なるべく費用が少なく、それでいて満足していただけるように、実施前のリサーチを特に大切に考えています。

今では病院だけでなく、様々な所から依頼を受け活動させていただいています。病院以外では、資格のない方もボランティアに参加出来ます。また、資格取得のお手伝いも有料ですが実施していますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



香りで暮らしを楽しむ(代表 河村 寛子さん)

藤崎 由起子さん(児童福祉ボランティア)

のぞみ園でプール療養のお手伝いをするようになったのは、こども支援ボランティアの養成講座を受講したのがきっかけです。講座の最終日にいただいたボランティアネットワークのパンフレットを見て、登録に伺いました。10年間、地域の小学校で水泳指導のゲストティーチャーをしていた自分の経歴とマッチングする募集内容を見て、園の方とも話をさせていただき、納得の上で、今の自分に出来る事と思い始めました。

活動中は事故が起こらないように周囲に気をくばり、出来る事からお手伝いをさせていただいています。その場で、今自分が何をすべきかを考えるようにもしています。また、毎回、自分が楽しむつもりでお手伝いに伺うようにしています。自分にできる些細な事で『ありがとうございます』など、感謝の言葉をいただくとやりがいを感じます。一緒に活動する方々の笑顔も励みになりますし、我が子が大きくなったので、小さなお子さんと触れ合えるのもとても楽しみです。